

令和5年度 当初予算(案)のポイント



当初予算のポイント(農水局)

第2次農水産業計画(改訂版)を踏まえつつ、農水産業の潜在力を引き出し、競争力の高い農水産業を振興するとともに、国土強靱化の視点も踏まえた、災害に強い、持続可能な経営基盤の確立を目指します。また、農と食の魅力創造に向け、良質な農水産物や加工品の効果的なプロモーションや情報提供を積極的に行い、販路開拓・拡大を推進します。

競争力の高い農水産業の振興

園芸農業などの地域の特性をいかした農業やスマート農業の推進

1,358,945千円

本市の農水産業の競争力を高めるため、消費者・事業者ニーズを踏まえた生産の拡大や低コスト化、出荷の安定化、品質向上、ICTやAI技術などを活用したスマート農業の実現とともに、肥料価格高騰下における施肥量削減対策や自然災害、鳥獣被害への対策の強化などに取り組みます。また、農業生産体制の強化に資する集出荷貯蔵施設の整備を支援します。

稼げる畜産・水産業の推進

収益性が高い畜産業及び効率的な養殖漁業・資源管理を推進し、競争力の強化を目指します。また、生産量が低迷している水産資源の持続的な維持・増殖を推進するため、有用魚貝類の種苗放流や二枚貝類の保護育成に取り組みます。



持続可能な農水産業のための経営基盤の確立

経営体の強化

3,146,168千円

担い手を育成・確保するとともに、農地の集積等による経営の安定化を通じて持続可能な農業の実現を目指します。

生産基盤の整備・保全

農地・土地改良関連施設及び漁場・漁港施設の整備・保全を推進し、国土強靱化の視点も踏まえた持続可能な農水産業のための経営基盤の確立を目指します。特に、地域の排水路整備や航路・泊地の土砂堆積への対応のため、排水事業や浚渫事業等の基盤整備を強化します。



農と食の魅力創造

98,905千円

農水産業の新たな価値を生み出す「農と食の魅力創造」に向けて、民間企業との連携強化やトッププロモーションを実施するとともに、通信販売等を活用した効果的な販売促進活動により、熊本の良質な農水産物のブランド化・高付加価値化、販路開拓・拡大を推進します。

また、更なる海外販路拡大を図るため、関係機関と連携した輸出相談窓口において、事業者の輸出力強化に向けた支援を行うとともに、商談会等の販路開拓の取組を強化します。



野生動物に起因する被害の防止・軽減

20,100千円

更なる捕獲頭数の増加や捕獲体制の強化を図るため、熊本市有害鳥獣駆除隊等への支援を拡大するとともに、市民との協働による鳥獣対策を強化し、地域住民と一体となった捕獲や鳥獣が近づきにくい環境整備など総合的な鳥獣被害対策に取り組みます。



健全な森づくりの推進

95,768千円

森林経理管理制度の運用による適切な森林管理や、市民との協働による放置竹林対策等、森林の持つ多面的機能を発揮する健全な森づくりを推進するとともに、市民の森づくりに対する意識醸成を目的とした森林環境教育や木育の取組を強化します。

